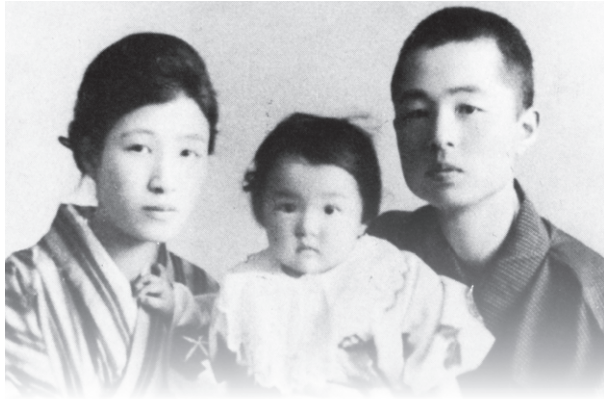
◆2022年8月の新刊　日本キリスト教団出版局

八木重吉の家族愛から生まれた作品と物語を写真付きで紹介



八木重吉 家族を詩（うた）う

日本キリスト教団出版局 編

若くして愛する妻と子どもを遺して召された八木重吉。自然や信仰をうたった詩に加え、深い家族愛から作られた作品を紹介しながら、重吉と家族の物語をたどる。さらに、ほぼ無名のまま亡くなった重吉の作品を復活させた妻とみ子のエピソードも収録。

A5判変型・並製・80頁・定価1,320円（本体1,200円＋税）

ISBN978-4-8184-1116-6　C0092

目次

招き
八木重吉と家族の年譜
思い出
父よ母よ妻よ子よ
重吉の信仰
琴はしずかに
明日〈家族の一日〉
これがいのちか
別れ
桃子よ陽二よ
残されし者の仕事
登美子の物語
墓標
記念館

2022年 8月25日 刊行予定

【好評発売中】『うつくしいもの──八木重吉 信仰詩集』 おちあいまちこ＝写真　定価1,320円